



No.6 / April, 2007

# たづきの丘だより

竹村内科・腎クリニック通信

〒322-0029 栃木県鹿沼市西茂呂 4-46-3

Phone; 0289-60-7577 Fax; 0289-60-7578 URL: <http://take2002.on.arena.ne.jp>

外来診療編

## 学会関連施設に

栃木県内には、透析治療を行う医療機関が65カ所ありますが(日本透析学会加盟施設、2006年度名簿)、当院には74台の透析治療装置があり、県下第2位の規模の透析医療機関です。さらにこのたび、日本透析医学会から「教育関連施設」の認定を受けました。専門医が治療を担当して、新規導入症例が一定数あり、定期的な教育行事を行い、大学病院などの認定施設との交流があることなどが指定の条件です。県内65施設のうち、認定施設は自治医大、獨協医大、済生会宇都宮病院の3カ所で、教育関連病院は宇都宮社会保険病院、芳賀赤十字病院、下都賀総合病院など救急中核病院の5カ所だけです。当院は、民間の透析クリニックとしては県内で初めて教育関連施設になりました！これからも腎臓内科・透析治療を中心に、最先端の医療サービスを提供できるよう努力して行きます。

## 内科部長が着任

4月から、常勤医師としては3人目、根本修(ねもとおさむ)先生が着任しました。昭和45年の生まれ、県立宇都宮高校の出身で、国立秋田大学医学部を卒業、福島県立医科大学大学院で医学博士を取得後、福島県須賀川市にある公立岩瀬病院に勤務されていました。救急医療の経験も豊富です。内科診療一般を担当されますが、専門は循環器内科・呼吸器内科です。好きな食べ物は杏仁豆腐とイチゴ、趣味は温泉巡りと癒し系の音楽鑑賞だそうです。なんと、このたび、鹿沼市内からお嫁さんを迎えることになったそうです。心臓病と肺疾患の専門家を加えて、診療体制がより一層充実します！



## 木もれ陽

私は最近DVDで韓国ドラマ「チャングムの誓い」54話すべてを観終わりました！はまってしまったのです。ドラマの中で、医女となったチャングムがたくさんの患者さんを診察します。そこで印象的なのが「脈診」です。現代の医学では一般的ではありません。チャングムは脈を診て診断しているようですが、よく注意するとそうではないようです。チャングムは患者さんの訴えによく耳を傾けているのがわ



かります。現代の医師は、まず「どうされましたか？」と聞きます。これを「問診」といいます。診察の第一歩は問診です。「いつから」「どこが」「どんなふうに」「どんなときに」また家族の病歴なども聞かれることがあります。このとき、いかに正確に伝えることができるかが、よい診察を受けるコツです。また、緊張している患者さんからいかに上手に、的確に話を聞きだせるかが、よい医師・看護師の条件となるのでしょうか。(K)

ウラも見てね

# 医学のトピックス

手塚治虫のマンガ「ブラック・ジャック」の主人公、ブラック・ジャックは天才外科医ではあるが、無免許である。そのため、莫大な報酬を請求することでも有名である。作品で語られる治療費で最大のものは150億円。反対に無料や、30円という場合もある。150億

円が要求されたのは第73話の「こっぴみじん」(1975年5月19日)で、ブラック・ジャックが戦争状態の国の大統領の専属医となったときである。当院の医師は全員名医だが(?)、全員医師免許を持っていて保健診療を行うので、何億円も支払う必要はない。よかったよかった?? <<http://www.m3.com/>>

**無免許医師，ブラック・ジャックの医療費最高請求額は150億円である。**



## さつき 音楽評

「Silent Stories(サイレント・ストーリーズ)」鈴木重子

BMG Japan 2006:B000CFWOZM

東大法学部を卒業した異色ジャズシンガーの、記念すべき10作目のアルバム。5作目の「ジャスト・ピサイド・ユー」では日本ゴールドディスク大賞ジャズ部門賞を受賞した実力派だ。2001年の映画「大河の一滴」で主題歌を担当している。音楽とは関係ないが、この春、岩波文庫の創刊80周年を記念して、岩波書店の雑誌「図書」に各界の著名人がエッセイを寄せているが、彼女は音楽関係者としてはミュージシャンの小室等とともに2人だけ選ばれて寄稿し、スペインのノーベル文学賞受賞作家、ヒメーネス作「プラテロとわたし」を推薦している。ずば抜けた知性と抜群のプロポーションを併せ持つ希有のシンガーだ。さて、今回のアルバムのライナーノートには「静寂へといざなう優しさに満ちた声、極上のリラクゼーション」とあるが、単なる甘いばかりのヒーリング・ミュージックではない。高度な録音技術を駆使し、口を開く瞬間、声となる寸前のため息のような音まで捉えられ、例えようのない高密度な音楽空間に仕上がっている。この「淡白な濃

密さ」は他に類を見ないが、あえて例示するならボサノバの永遠の名盤、ジョアン・ジルベルトのスタジオ録音「3月の水」に匹敵するだろうか。歌声は「東洋的な年齢不詳のハスキーボイス」とでもお伝えするほかない。やはり私の好きなボサノバ歌手のマリア・クラウザを彷彿とさせるが、マリアがいくつになっても淡い可憐ささえ感じさせるのに対し、マリアよりはるかに若い鈴木が、水墨画のような幽玄とも言うべき境地を切り開いているのが興味深い。収録曲の中では「ラヴ・ミー・テンダー」「蘇州夜曲」「マイ・ロマンス」などを防水ラジカセでお風呂で聴くことをおすすめする。浴室が癒しの異空間になること請け合い!(ね)

